

呼吸器内科・医療の質 臨床指標 成人市中肺炎経年データ 7年の経過

公表されたDPCによる臨床指標
「成人市中肺炎の重症度別患者数等」
呼吸器内科のクオリティマネジメント

肺炎：重症度分類

- A-DROP方式……予後因子で分類

0, 1, 2, 3, 4, 5点が付けられる

軽症(0)、中等症(1, 2)、重症(3)、
超重症4～5)

項目：Age

Dehydration

Respiration

Orientation

Pressure

DPC code 年齢A000010

1 0 0 0 1 0 5

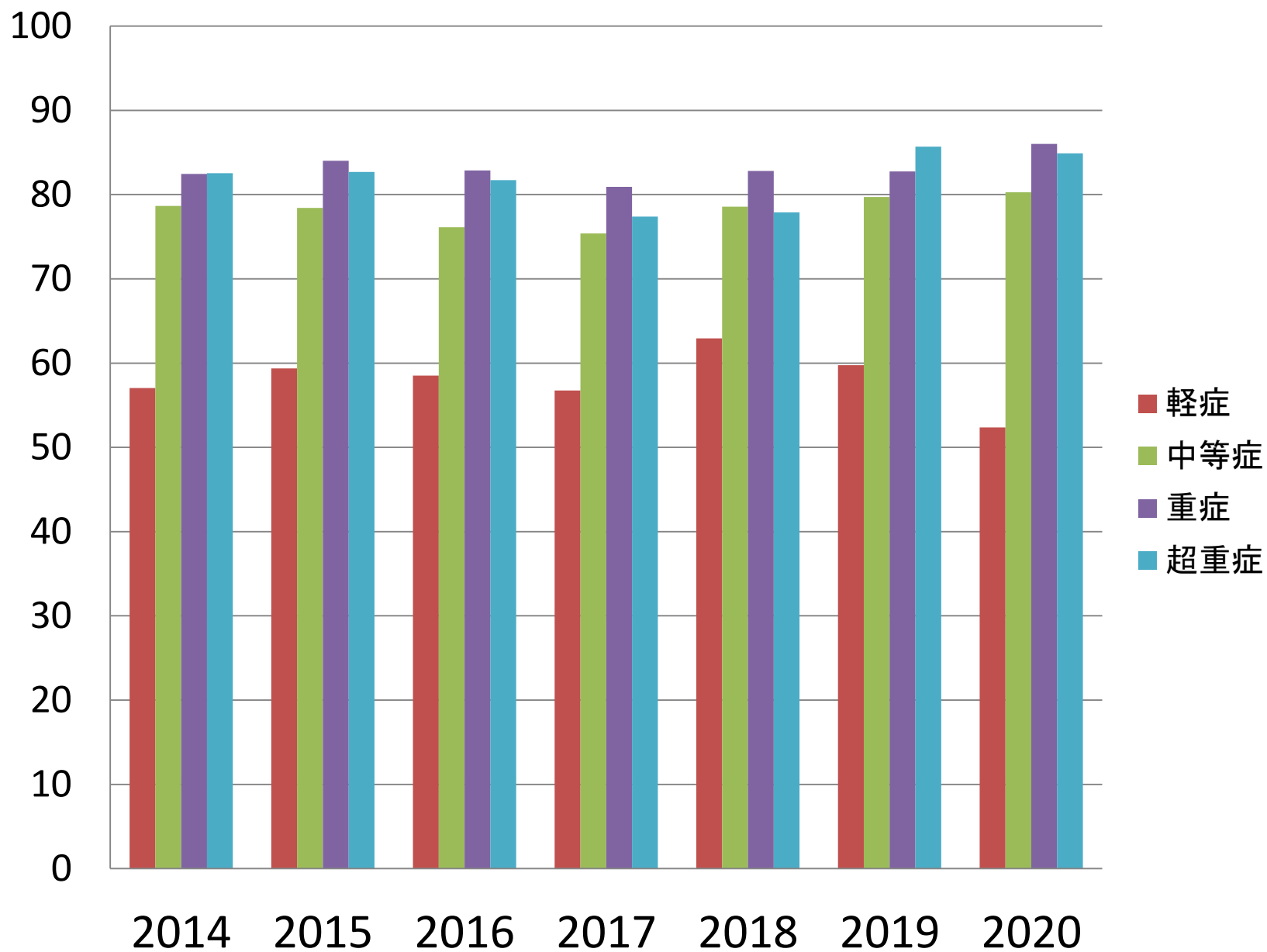
院内肺炎、市中肺炎

肺炎重症度規定因子

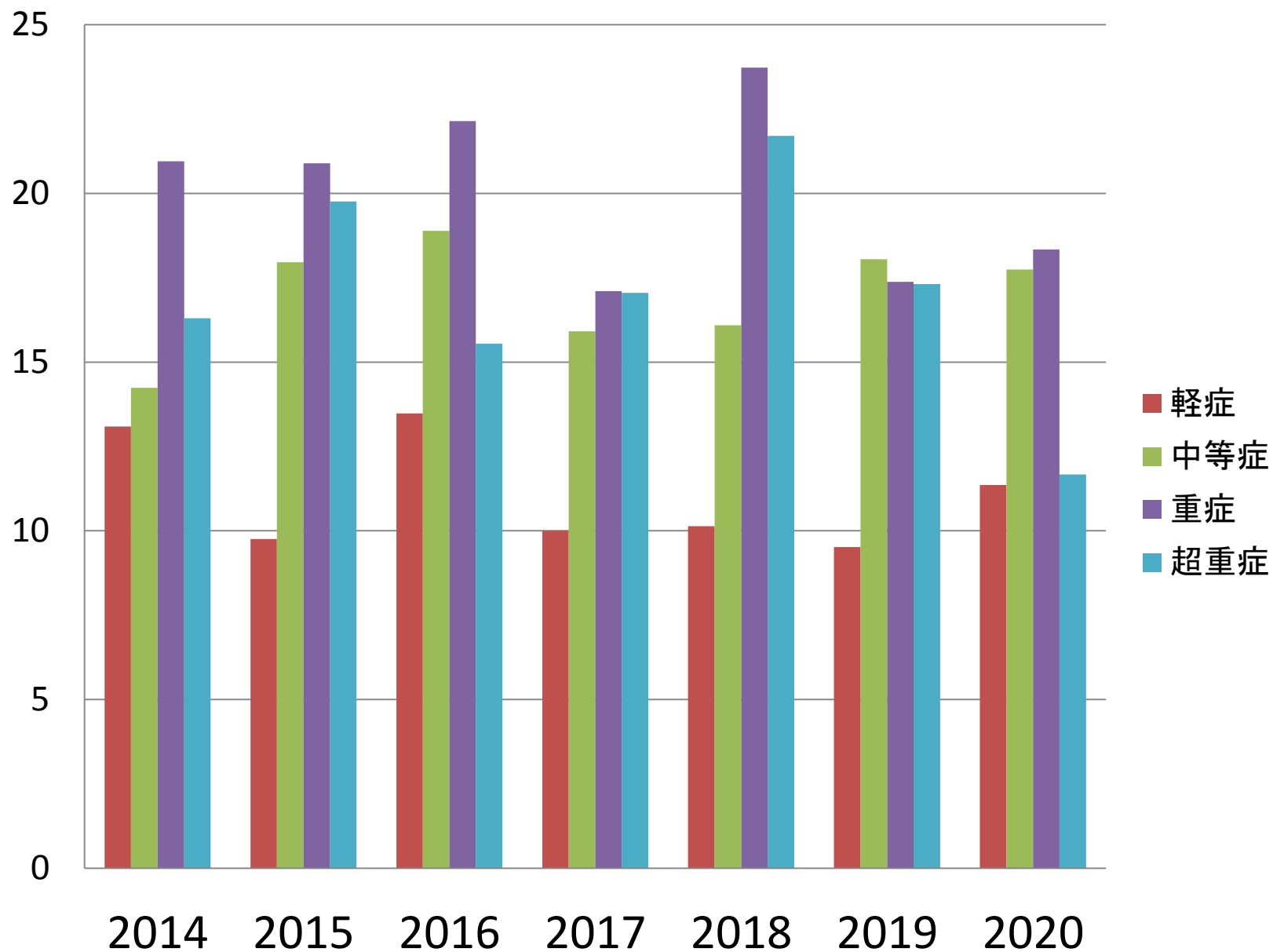
免疫不全状態

平26～令2年度	年平均 患者数	平均在 院日数	平均年齢	退院時転帰	
				平均死 亡数	平均死 亡率
軽症	18.9	11.1	58.1	0	0
中等症	127.1	17.0	78.2	7.71	6.1
重症	41.3	20.1	83.1	6.4	15.6
超重症	21.1	17.1	81.8	6.7	31.8

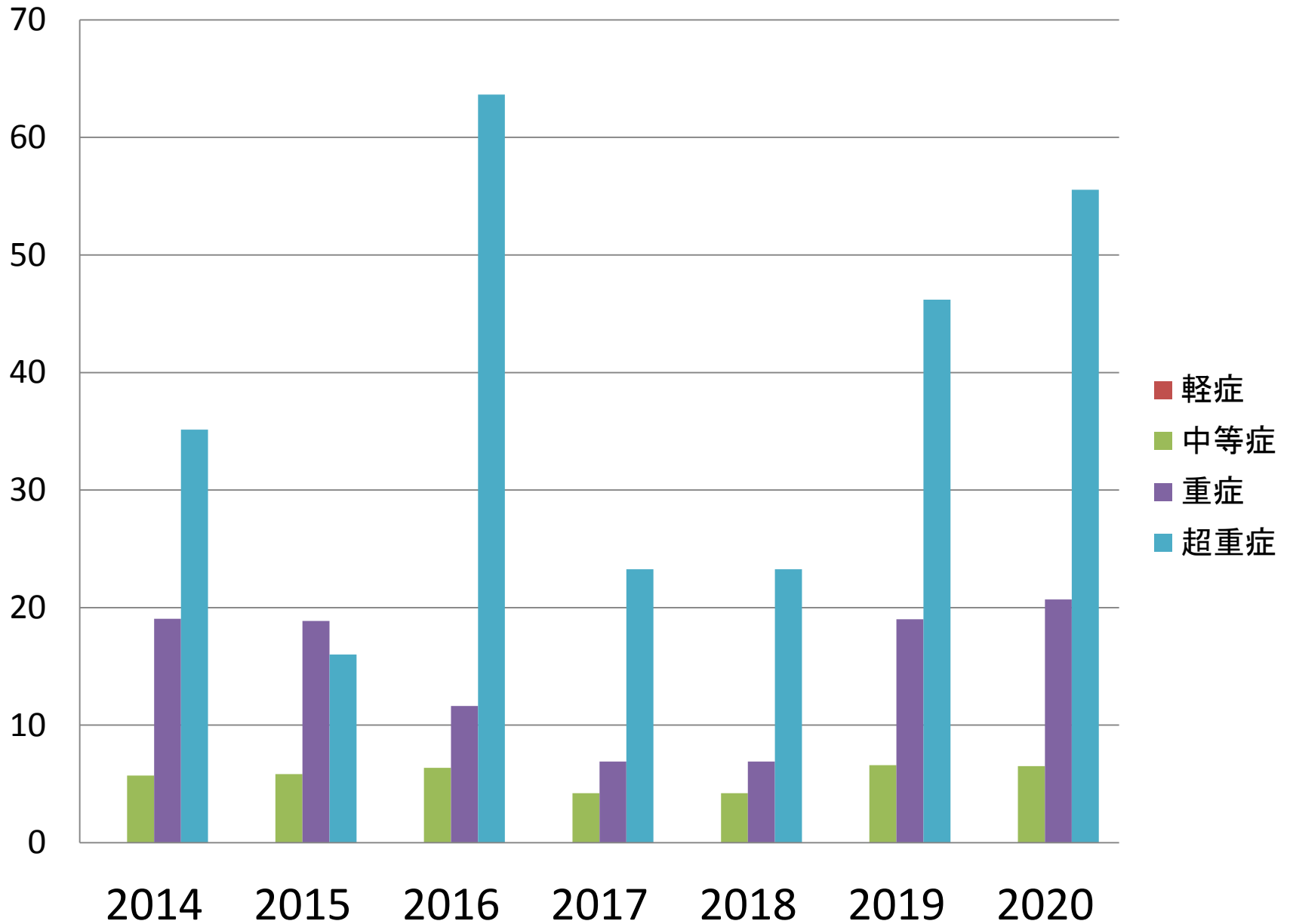
平均年齢



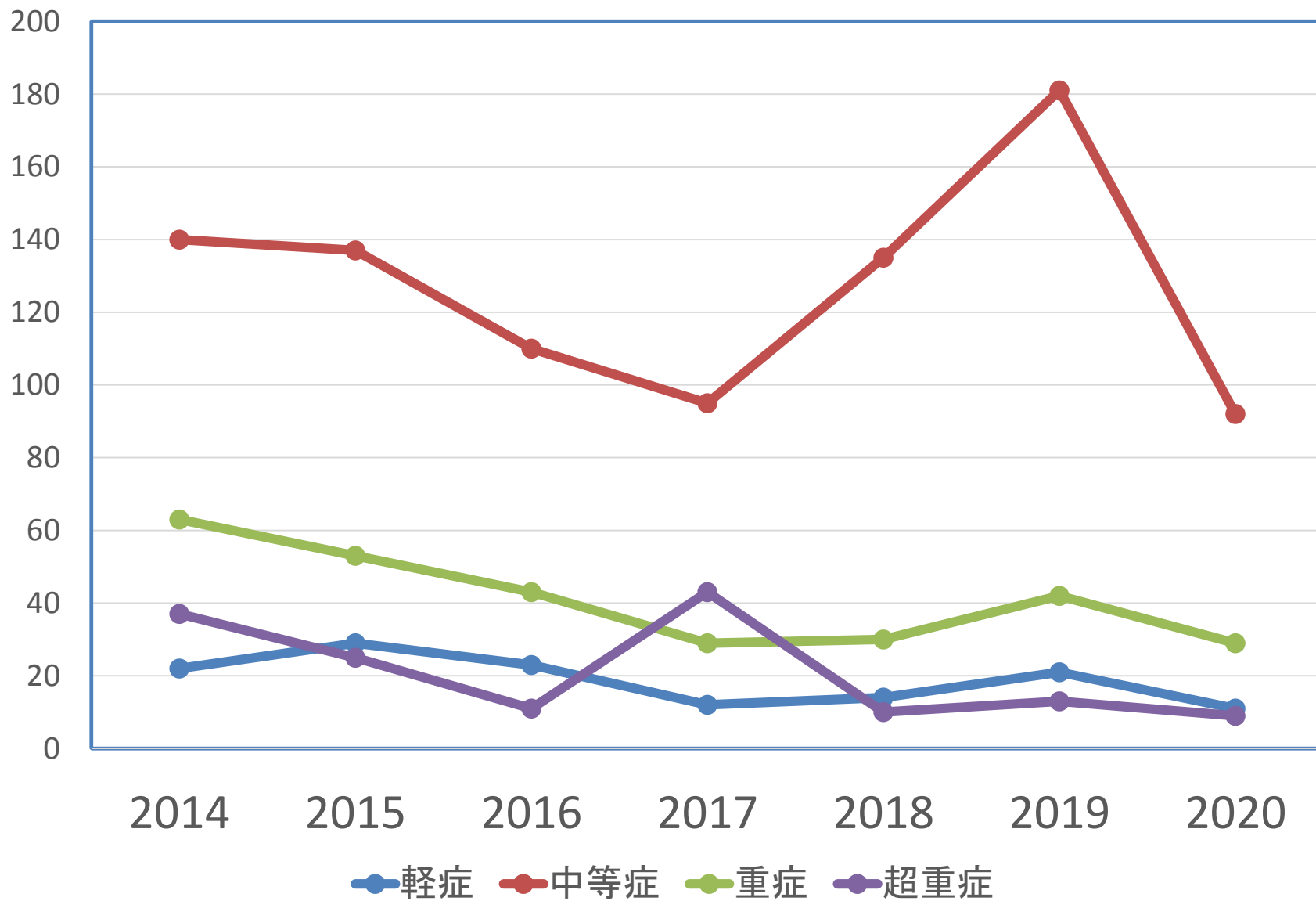
平均在院日数



死亡率%



患者数の推移



まとめ

成人市中肺炎の重症度別患者数等 (DPCデータ)7年のデータ蓄積

- ・新型コロナウイルス感染症蔓延の時期に、市中肺炎患者数が激減した。
- ・重症と超重症の死亡率が上昇した可能性。
- ・軽症死亡率は毎年0%で一定。
- ・中等症の平均年齢が初めて80歳代に上昇。
死亡率は5－6%前後で一定。